

# Matsuda

No.204  
2016.11.15

松田町議会だより



## スタート ダッシュ!

10/2 松田幼稚園運動会

第3回定例会の概要・決算の質疑	2
条例・補正予算・臨時会の概要	6
一般質問	7

意見書・要望書	11
住みやすい町を目指して②7	12



# 平成28年 第3回定例会 9会計の決算を認定

歳入 79億2269万円  
歳出 74億8220万円  
会期 9日間 9/7~9/15

9月7日(水) 本会議1日目 一般質問6件(6人)・議会全員協議会

8日(木) 本会議2日目 一般質問3件(3人)・工事箇所視察

9日(金) 本会議3日目 議案第39号~45号・条例と補正予算審議

12日(月) 本会議4日目 認定第1号~9号・平成27年度一般会計

及び8特別会計一括上程、監査報告、一般会計細部説明、質疑、決算審査特別委員会へ付託

13日(火) 議会運営委員会(基準の一部改正)、議会全員協議会、

産業厚生常任委員会(議案第42号)、総務文教常任委員会(学校のあり方等)

14日(水) 一般会計決算審査特別委員会

15日(木) 本会議5日目 決算審査特別委員会報告(認定第1号)・

8特別会計の審議・発議1件の審議等、議会全員協議会

なお、一般会計決算の主な質疑は、次のとおりです。

## 一般会計決算の主な質疑

### 政策・方針関係

**質** まち・ひと・しごと

創生総合戦略策定事業で394万2千円の委託料が支出されているが、どのような成果があったのか。

**答** (政策推進課)

地方創生交付金を活用するための条件として、総合戦略を策定する必要があった。松田町が地方創生を進めるために、総

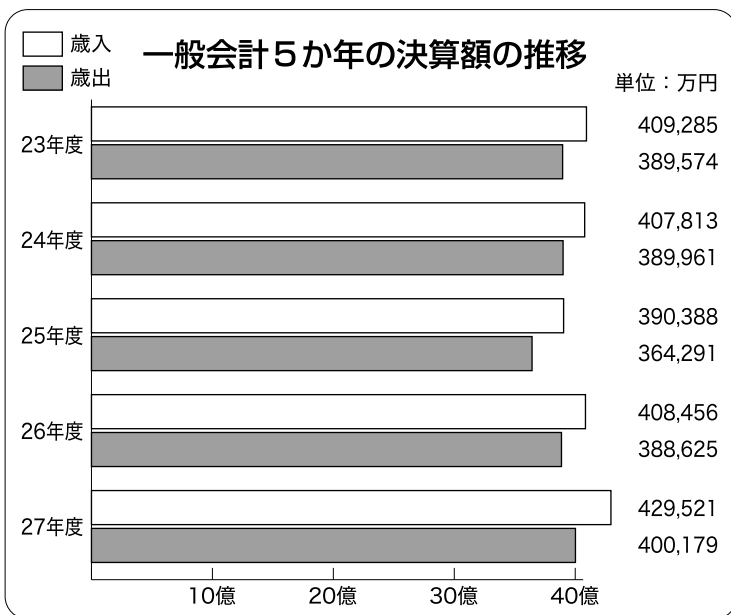
合戦略の中で取り組む課題・方向性・事業の柱立を示したものである。この総合戦略に基づいて、各種個別事業を国に申請をして、認定を受けている。

**質** 今後、町単独で事業

を起すのではなく、足

**答** (政策推進課)

柄上地区や泉西地区で連携していく必要な事業もあるかと思うが、実現できそうな事業にはどのようなものがあるのか。  
大井町の福祉バスを松田町でも利用できる仕組みづくりの検討、縁結びサポート事業を山北町と来年3月に開催、広域空家バンク連絡協議会を2市8町で今年度に設置予



定、在宅医療・介護連携推進事業は調整中、介護認定審査会は上衛生組合で業務を実施している。  
**質** 財源確保と地場産業育成のために、ふるさと納税制度をどのように積極的に取り組んでいるのか。

**答** (政策推進課)

現在「さとふる」一カ所を窓口に受け付けているが、今後は「楽天」や

「ふるさとチョイス」も取り扱えるよう調整中である。受付窓口を3か所に増やし、多くの方に納税していただくよう努力していく。  
**質** 敬老祝金を見直したらどうか。

**答** (福祉課)

政策的なことになるので内部で調整をして、しかるべき時期に議会に相談したいと考える。

# 収支・財政関係

**質** 農業委員の選出方法が変更となるが、農地面積が減少する中で、これからの農業委員会としてのあり方をどう考えるのか。

**答** (観光経済課)

今回の法律改正では、耕作放棄地などの対策として、農地の適正管理が加わった。耕作地200ha以下の市町村の農業委員会設置は任意だが、農業者の声の吸い上げも必要であり、今後、耕作放棄地等の対策を考えていく。

**質** 生産年齢人口の定住化に向けた取り組みの状況は。

**答** (定住少子化担当室)

東京ほか7会場に行き町の魅力や空気が伝わるようシティセールスに取り組んだ。18歳から39歳の年齢層では、親元にUターンする傾向がありますので、二世帯同居等の支援、ふるさと同窓会の助成に取り組んでいる。

**質** 個人町民税の特別徴収の割合はどのくらいあるのか。

**答** (税務課)

28年度の割合は77.5%、27年度の69.5%より上昇している。

**質** 一般会計と特別会計を合わせると、収入未済額が1億9千万円くらいある。民間企業を使った徴収委託も考えていたか。

**答** (政策推進課)

26年度で消費税が5%

きたい。

**答** (税務課)

県下全市町村の大きな問題で、町村税務協議会でも民間委託の研究を進めているので、対策を考えていきたい。

**質** 地方消費税交付金が大幅に増額となった理由は何か。

**答** (政策推進課)



町の魅力や暮らしをシティセールスで説明する町職員(3/21 東京・新宿会場)

から8%へと引き上げられたため増額となった。

**質** 決算で税収も落ち込んでいるが、様々な財政需要がある中、町の5年先・10年先の財政推計はあるのか。

**答** (政策推進課)

コミュニケーションしたところ、平成35年くらいが、償還金のピークとなる。今後どういう財政需要があるか具体的に把握

し、近々にお示しできるよう作成中である。

**質** 27年度決算ベースで上郡4町の財政調整基金はどのくらいあるのか。

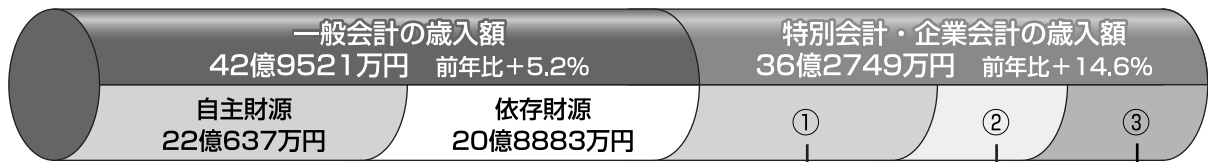
**答** (政策推進課)

中井町が7億3千万円、大井町が13億円、山北町が5億2千9百万円、開成町が2億9千9百万円で開成町と松田町はほぼ同じくらいです。

## 平成27年度 会計別決算の状況

9会計の歳入決算額 ⇒ 79億2269万円 前年比 +9.3%

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計が不一致の場合があります



①国民健康保険事業特別会計	16億8269万円	②介護保険事業特別会計	9億3659万円
③その他6会計の合計	10億821万円		
・下水道事業特別会計	3億5927万円	・用地取得特別会計	2億524万円
・上水道事業会計	1億7049万円	・後期高齢者医療特別会計	1億5859万円
・国保診療所事業特別会計	7166万円	・寄簡易水道事業特別会計	4296万円

**自主財源** … 市町村が独自に調達できる財源 ⇒ 町税、手数料、使用料、諸収入、分担金 他  
**依存財源** … 国や県から交付される財源や借金 ⇒ 地方交付税、国県支出金、町債 他



## 施設関係

**質** 幼稚園保育料等は、長年同額で据え置きされているが、値上げを検討されたことはあるのか。

**答** (教育課)  
政策として上げられな

かったと思われる。今後は、保育料等の改正について教育委員会、町長と協議をし検討を行っている。

**質** 町営住宅の統廃合の取り組みと、土地を有効利用するために、借地を地権者にお返しする際の

話し合いはしているのか。  
**答** (総務課)  
町有地に今後建設する町営住宅への住み替えに

### 一般会計決算審査特別委員会報告書(抜粋)

歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。

なお、今後は次のことについて、留意し執行されたい。

- (1) 歳入は、財政状況が厳しい中ではあるが、地方創生交付金事業やその他の補助事業を積極的に取り組み、財源確保に努められたい。
- (2) 歳出は、不用額が多く見受けられるが、データを分析して予算計上し、有効かつ効率よく執行されたい。
- (3) 機構改革をして2年が経過したが、その成果を検証し、効率的な事業執行をされたい。
- (4) 施設管理や今後の大型事業の執行にあたり、長期的な財政推計及び計画を作成して事業を進められたい。
- (5) 決算審査特別委員会で指摘された事項について、改善・研究し、今後の事業を実施されたい。



老朽化し今後のあり方が課題の町民文化センター

取り組んでいく。借地については、地権者からの要望があれば、返還の際に土地の有効利用が図れるよう調整していく。

一つの借地については、2軒の方が河内住宅に転居していただいたので、地権者と返還に向けての跡地利用の話し合いをしている。

**質** 健康福祉センターの入浴料の改正については、町民への周知期間が短か過ぎないか。

**答** (福祉課)  
入浴料改正については、周知が行き届かず、申し

訳なかつたと思っている。

**質** 町民文化センターの使用料収入の低下についてどうなっているのか。

**答** (教育課)  
雨漏り等の発生のため

有料で大ホールを使う事業については、現在利用を断っている。大ホールで興業を組むには、大修繕を行ってPRを併せて行う必要がある。

**質** 今年の夏から松田小学校のプールの夏休みの開放がなくなった。学童が非常に不便を感じたという声があつたが、何とかならないのか。

**答** (教育課)

松田小学校のプールは、利用者が年々減少し、今年には開放をやめた。松田中学校には、小・中・大と3つのプールや駐車場もあるので、松田地区のプール開放を一か所としたが、小学校のプール開放の要望があれば、来年に向けて話し合いたい。

**質** 図書館の本の貸し借りは、広域でできているが、本の購入やイベント等広域での協力体制はできないのか。

**答** (教育課)  
図書への貸し借りは、近隣の市町村や県立図書館をとおして進めている。

イベント等は、他市町村と連携しながら、今後検討していきたい。

**質** 家ノ河原線道路詳細設計委託や町道19号線道路改良工事設計業務委託など実施されたが、どんな効果があるのか。

**答** (まちづくり課)

家ノ河原線は、消防第2分団詰所から砂利線跡地に向かう町道計画で、整備をして沿線の未利用地の活性化を図りたい。町道19号線の町屋踏切は朝晩交通量が多く、小学校へ通う児童も多いので、周囲の道路を拡幅し安全な道にすることにより、定住化を図っていく。



拡幅の設計委託をした町道19号線



# その他



夏の夜空を飾るあしがら花火大会

**質** 社会福祉協議会の専従職員と行政職員との交流についての考えはありますか。

**答** (総務課)

町からの出向の条例は整備されている。社会福祉協議会との協定を結ぶなど手法の研究をしている。

**質** 国際交流事業委託料296万円の内訳は。

**答** (政策推進課)

観光まつりへの外国人53名の参加経費、産業まつりの英会話カフェのブース設置経費、桜まつり

の外国人ツアー経費、アメリカ大使館での即売会経費が主なものである。

**質** 合同花火大会になぜ大井町が入らないのか。

**答** (政策推進課)

来年から大井町とも合同で開催できるように、現在調整をしているところである。

**質** 災害時に最前線で体を張って働いている消防団員に対して、危険手当

がついているが、1回の出勤について、1人当たり500円は安すぎるのか。増額できないのか。

**答** (安全防災対策室)

危険手当は平成26年度に新たに予算化して3年目を迎えた。手当の増額については、消防団員の装備品の充実や消防資機材などを整備する必要もある。平成29年度予算編成で合わせて検討していきたい。

**質** 法外援護は、社会福祉協議会で実施したほうが良いと考えませんか。

**答** (福祉課)

一般困窮者交通費助成については、社会福祉協議会が健康福祉センターに移った後に、福祉課で近隣の役所の最寄り駅までの電車回数券を渡し、対応するようになった。

**※法外援護とは**

法令等による援護を受けられず、緊急的な状況にある者に対して行う援護。町社会福祉協議会でも様々な援護を行っている。



災害時には最前線で活動する消防団(5/7 ポンプ性能検査)

**質** 農業総務費の支出増が多く、特に残業が目立つ。機構改革の狙いがこの辺にあつたはずだが、

成果についてどう考えているのか。

**答** (観光経済課)

観光立町としての入込客の増加を図っている。ロウバイ園やドッグランなどの委託に向けた自立を図るため、職員の頑張りで残業が多くなった。

**質** 現在、着工中の新東名高速道路の中津川橋と

山北からのトンネル工事終了後、町として活用できるものはあるのか。

**答** (まちづくり課)

作業道や仮設橋が架かるが、基本的には、工事終了後に撤去する。雨水処理のために調整池を造るが、その維持管理用としての作業道は残る。町に引き取りの相談があつたが、ゴミの不法投棄や事件・事故につながるお断りした。

## 12月議会（6日・9時開会）を傍聴してみませんか！

松田町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回定例会が開催されます。また、必要に応じて臨時会が開催されます。議会での審議を誰でも傍聴できますので、ぜひ、議場にお越しください。

- ①議場入口に「傍聴券」がありますので、住所と氏名を記載して、入場してください。定員は、25名です。
- ②写真撮影や録音・録画は、議長の許可が必要です。

詳細は議会事務局へ 84-1335(直通)

# 条例、補正予算、議員発議

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、次の2つの新設条例の制定と一部改正を提案しました。

●松田町農業委員会委員の定数に関する条例

農業委員会委員の定数(8人)を制定するものです。(附則で現行定数条例は廃止、現在の委員の任期満了後は、公選制から町長の任命制となる)

●松田町農業委員会委員候補者選考委員会条例

松田町農業委員会委員候補者選考委員会委員の報酬を定めると共に、法律の改正による条項の整理をするものです。

●松田町下水道条例の一部を改正する条例

松田町下水道条例の一部を改正する条例

方法が変更されたため制定するものです。

●松田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び松田町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

松田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び松田町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

松田町農業委員会委員候補者選考委員会委員の報酬を定めると共に、法律の改正による条項の整理をするものです。

●松田町下水道条例の一部を改正する条例

下水道事業の健全な運営を図るため下水道使用料の改正をするものです。

●松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

建築基準法施行令及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条項の整理をするものです。

●平成28年度松田町一般会計補正予算(第4号)

一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出それぞれ7263万4千円を追加し、予算総額を43億6992万1千円とするものです。



10/27 農業委員会10月総会

●平成28年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ4483万9千円を追加し、予算総額を10億6256万2千円とするものです。

介護保険財政調整基金積立金、交付金等の精算返還金が主なものです。

●平成28年度松田町一般会計補正予算(第2号)

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ493万4千円を追加し、予算総額を42億1759万1千円とするものです。

●平成28年度松田町一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ7969万7千円を追加し、予算総額を42億9728万7千円とするものです。

●専決処分の承認を求めることについて(平成28年度松田町一般会計補正予算(第2号))

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ493万4千円を追加し、予算総額を42億1759万1千円とするものです。

●平成28年度松田町一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ7969万7千円を追加し、予算総額を42億9728万7千円とするものです。

## 議員発議

●松田町議会運営基準の一部を改正する基準

条例の改正により農業委員の選出方法が変更となつたので、条項の整理をするため、議員発議をしたものです。

## 審議の結果

松田町下水道条例の一部を改正する条例

松田町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例及び松田町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

松田町農業委員会委員候補者選考委員会条例

松田町農業委員会委員の定数に関する条例

松田町下水道条例の一部を改正する条例

松田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

松田町農業委員会委員候補者選考委員会条例

部を改正する条例は、産業厚生常任委員会へ付託され、継続審査となりましたので、定例会では採決はありませんでした。

以上、松田町下水道条例の一部を改正する条例を除く条例4件及び補正予算2件、決算の認定9件については、原案のとおり賛成全員で可決されました。

●平成28年度松田町一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出それぞれ7969万7千円を追加し、予算総額を42億9728万7千円とするものです。

主な内容は、地方創生加速化交付金及び推進交付金の交付決定に伴い事業を実施するための計上したものです。

## 審議の結果

以上、承認1件、補正予算1件は、原案のとおり賛成全員で可決されました。

## 第3回臨時会(8月10日)

平成28年第3回臨時会は、8月10日に開催されました。内容は、専決処分の承認と補正予算を審議しましたので、その概要をお知らせします。

●専決処分の承認を求めることについて(平成28年度松田町一般会計補正予算(第2号))

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ493万4千円を追加し、予算総額を42億1759万1千円とするものです。

内容は、7月に補助

一般会計補正予算



# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

## 障がい者福祉施設の安全対策は！



質問者  
利根川 茂 議員

県立津久井やまゆり園において、元職員による凄惨な大事件が過日に起きました。人口の5%は、心や身体に障がいのある人がおります。

20人に1人は、心身障がい者です。1人の障がい者は、19人分の健常者が持つべき障がいを背負っているのが実態であります。

障がい者を社会から排除する考え方は、正しくありません。社会で包み込んでいくインクルージョンの考え方を浸透させていかなければなりません。

そのために、町内にある障がい者施設の安全対策について、どのように

考えていますか。

町長のお考えをお聞かせください。

### A 身障者の安全対策には万全を期します

回答（町長）



津久井やまゆり園の事件には、心よりお悔みを申し上げると共に、負傷された方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

本町には、5000人を超える心身障がい児者が住んでいます。

また、町内には2か所の障がい者の通所施設があり、その施設の安全対策には、神奈川県当局の指示もあり、万全の対策をとるよう施設に確認をしている。

なお、幼稚園、小・中学校には、常駐の警備員

を配置しているが、夜間等職員が不在となるところには、セキュリティを警備会社へ委託したり、防犯カメラの設置や入口の施錠方法などにより、具体的な危機管理体制を作り、心身障がい児者を守っていく。

## 安全・安心のまちづくりについて



質問者  
鈴木 眞徳 議員

近年、防犯カメラがマンションや駅、公園、商店街といったところで見かけることが多くなりました。当然、設置したからといって100%安全になるわけではありません。

設置することによって、防犯カメラの抑止につながります。通学路や公園に設置することで、子どもたちを犯罪から守る効果も期待されま

す。そこで、駅周辺や通学路を中心に防犯カメラの設置促進が必要と考えますが、町長の見解をお伺いします。

次に、以前は横断歩道に交通安全のために、黄色い横断旗が備えられていましたが、現在は見受けられません。補充等はどのようにしているのかお伺いいたします。

### A 警察署等と相談し順次取り組んでいきたい

回答（町長）



現在、町では、JR松田駅南口側に2台の防犯カメラを設置し、防犯の効果を高めた犯罪の発生を抑制している。今後、駅周辺や通学路を中心に防犯カメラを設置し、被害を減らしていくことは可能だが、逆に犯罪を人の目の届かない地域に誘発してしまう危険も考えられるので、松田警察署や自治会等と相談をしながら、可能な場所から順次設置に取り組んでいきたい。横断旗については、町全域で42か所に設置してあるが、旗の補充ができていない箇所があったので、常時、旗のある状態を確保していく。

# 移動販売事業を問う



質問者  
中野 博 議員

街中の商店が、やむなく閉店をされる中、移動販売事業は、買い物弱者にとって大変に待ち焦がれたものであると思います。

しかし、全国的にも途中で挫折という例も少なくありません。

松田町にとって末永く効果的・効率的に持続するよ様に、事業推進のための施策をお聞かせください。

**A**

## 継続こそ町民サービス!

回答 (町長)



最も重要である事業の継続性については、推進協議会の中でも議論されてきた課題であるため、



好評の移動販売車「くるまつくん」

全国的にも唯一成功事例であろうと思われる方式を参考にしたい。一般的な移動販売は、個人事業主が一人で運営しているが、予期せぬ事態が発生した場合にも対処できるよう、法人が事業を実施することで、利用者に不便が掛

## 有害獣の管理捕獲に対する新たな支援を!



質問者  
田代 実 議員

からないようにした。今後も事業継続のため、推進協議会では、地域からの要望や問題点を洗い出し、事業の改善を図り、より多くの方々が喜んでくれるよう、町としても適切な助言や指導をしていく。

松田山並びに寄の農地や山林における鹿・猪・狸・ハクビシンなどの有害獣による被害は甚大のため、その対策として第3回議会臨時会で補正予算に、有害獣被害実態等調査事業1200万円が計上されました。

松田町の有害獣対策について、町長の考えをお伺いします。

(1) 調査事業は、被害実

態調査とジビエ事業性調査が主なもので、最も重要な被害対策の詳細について示されておりません。今後、どのような方針で被害を防止していくのか。

(2) ワナを用いた鹿や猪捕獲の担い手は、猟友会とされていますが、農家との連携は。

(3) 松田町猟友会々員の平均年齢は、65歳を超え後継者不足になっており



農作物を荒らす鹿(写真は松田山)

**A**

## 今後も効果的な対策に取り組む

回答 (町長)



ます。管理捕獲に対する猟友会への新たな支援については。

(2) 猟友会と農家との連携は、町補助金を活用しワナ免許を取得していただき、自分の畑にワナを設置し、捕獲後に猟友会に止め刺しをしていただくことを考えている。

(3) 猟友会への新たな支援は、後継者の育成を図るために捕獲講習会と合わせ、女性を含む若手の新規ハンターの加入や町外在住のハンターを呼び寄せるなど、新たな人材の掘り起こしに取り組んでいく。また、猟友会に対して定額補助金を増やすのか、1頭捕獲したらいくらかとするかの支援策を検討していく。

(1) 被害の防止策は、農家が設置する金網柵や電気柵などの防護柵補助金を使いやすくした。また、銃器を主体とした駆除方法に加え、括弧ワナや箱ワナの捕獲を拡充する。



# 都市計画の策定と駅周辺の活性化計画の状況は？



質問者  
齋藤 永 議員

昨年の一般質問でお聞きした都市計画の策定とコンパクトシティーのマスタープランの検討を進めていると思いますが、国道255号は未だに渋滞、新東名が完成すれば南下する車は必ず松田を通過し、更に渋滞が懸念されます。このことを踏まえ、次のことについてお聞かせします。

- (1) 新松田駅南口の整備事業や都市計画の策定等の進捗状況は。
- (2) 新松田駅南口は送迎車であふれ、北口では送迎車でバスが立ち往生し通行の妨げとなり、また、JRガードから来る歩行者が認識しづらく、車が急ブレーキを踏んだりして危険な箇所です。
- (3) 駅周辺に主要幹線道路整備が必要と思われるかもしれませんが、

A

**20年後の松田町の姿に向けた「都市マスタープラン」**  
回答 (町長)

- (1) 用地取得は全体面積の7割以上が完了している。都市マスタープランは、現在「地域別構想や実現化方策の作成」を今年度中に完成する。
- (2) 歩行者の安全確保、

交通混雑の緩和については、その対策に様々な研究を重ねている。ソフト面で、迎える車が待つのではなく、迎えてもらう方が駅で待つように看板の設置・啓蒙用パンフレットの配布を実施する。ガード付近の対策は、ラ

バーコーン等の設置に向け、県西土木事務所や松田警察署との協議をする。

(3) 駅周辺の幹線道路は、幅員や構造を研究していく。「新松田駅周辺整備基本構想、基本計画」を策定する中で、研究・検討を重ねていく。

## 里地里山の保全と耕作放棄地の取り組みは



質問者  
飯田 一 議員

農業者の高齢化が進み、耕作放棄地がさらに増えるものと危惧されます。耕作放棄地の増加に伴い、里地であった耕作地が雑草地となり、猪・鹿・狸・ハクビシン等の格好の棲み処となり、また、それにつれヤマビルも増加します。

里地里山を守るには、まず、耕作放棄地の草刈り等を行うなど環境整備

が必要と考えます。そこで次の点について伺います。

- (1) 農業者の高齢化に伴い、耕作放棄地が増えていますが、対策は今後どのようにお考えですか。
- (2) 里地里山の保全について、ボランティアの人の協力を仰ぎ、成功している事例も少なくありません。ボランティア制度の導入のお考えは。

A

**荒廃地の再生や保存は、里地里山保全事業の活用で**  
回答 (町長)

(1) 農業委員会との事業を強化し、開発機関を通じて未病対策につなげ、どんな作物を栽培すれば利益性のよい農業となるかなど様々な研究を行っていくことで、若い方や農業に従事したい方々の農業参加支援を行い、耕作放棄地の増加の抑制を図

りたい。

(2) 先月、寄地区全域が「神奈川県里地里山保全地域」に選定された。この里地里山保全活動は、活動する土地の所有者と地元団体との間で協定を結び、それを県が認定することで、様々な補助金を受けられることが、団体が購入する資器材の購入費も上限があるが補助される。

ボランティアの導入も可能であり、本制度の活用は松田町の農業の活性化や良好な農業環境の維持・継続を行っていくことにつながると思っています。



里地里山の風景 (寄地区)

# 子育てしやすい町づくりを



質問者  
南雲 まさ子 議員

松田町総合戦略の基本目標の中に、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりとあります。その目標達成のための町としての取り組みについて伺います。

(1) 学童保育の対象が4年生から6年生にまで広がりましたが、その対応は万全に実施されていますか。

(2) 今年の9月から子育て世代包括支援センター事業が始まりましたが、本町として出産後のケアを拡充する考えはありますか。

(3) 病児病後児保育を近隣の町と広域で行えるような話し合いをする状況にあると思いますが、どのようにお考えですか。

## A 安心して子どもを産み育てられる環境づくりを

回答 (町長)



(1) 児童数や教室の増加に伴い、学童支援員を増員した。今後利用者が増えることが予測され、29年度以降に向けた更なる対応策を研究し、ニーズにあった対応を行っていく。

(2) 子育て世代包括支援センター事業は、専任の非常勤保健師を雇用し、9月1日より事業を開始した。

産後ケアについては、足柄上病院で年内に事業を開始する予定であり、当町としてもケアの協力または支援について調査研究を進めていく。

(3) 足柄上郡5町で、病児病後児保育は足柄上病院を拠点として実施する方向にまとまった。しかし、小児科医の不足により協力できないとの回答であった。病後児保育としては、ファミリーサポートセンター事業での対応を考えている。

## 町の教育への取り組みについて



質問者  
平野 由里子 議員

(1) 松田町立幼・小・中学校の適正規模・配置のあり方については慎重な検討が必要ですが、次のことをお尋ねします。

① 平成28年9月中を目途に方向性を決めるとのことですが、当初平成27年度中に方向性を示すとされていましたが、遅れた理由は何かですか。

② アンケート結果では、保護者・町民・教

院を拠点として実施する方向にまとまった。しかし、小児科医の不足により協力できないとの回答であった。病後児保育としては、ファミリーサポートセンター事業での対応を考えている。

員は「松小・寄小は連続、寄中は松中に統合」と「小中学校それぞれ統合」を合わせ、何かしら統合すべきと考える方の割合が最も多くなるが、児童生徒では現況のまま連続を望む回答が最も多い。これに対するお考えをお聞かせください。

(2) 登校時間帯の交通規制を見直すことについて、児童の安全に対する町の

## A 学校のあり方は全課の課題

回答 (町長・教育長)



姿勢をお聞かせください。

(1) 学校のあり方について昨年末に広範なアンケート調査を行い、その集計・分析に予想以上の時間を要したことが遅れの要因である。

児童・生徒の回答に現在のまま連続という声が多いことは、現在の学校生活に満足しており環境

が変わることへの不安を表しているものと推測するが、子ども達の率直な意見が聞ける場を設けるよう学校と調整したい。

この課題は、一つの町としてやっていくために全課が目をもつてはならないものと認識している。学校教育のカリキュラムを踏まえつつも、寄の地域を活かした教育の可能性をさぐりたい。学校統合については先進地域などの様々な情報を得ながらより良い方法を考えて行く。

(2) 見直し要望が出された際には、常に児童・生徒の安全を第一に考えて判断する。



統合が検討されている寄中学校



# 国民健康保険事業の 都道府県化を問う



質問者  
小澤 啓司 議員

2013年に「社会保険制度改革推進法」が成立し、国民健康保険事業も2018年度から都道府県化が決まっている。行政や町民への影響が大きいと思われるので、このように質問する。

(1) 都道府県化が施行されると、次の事項はどのようになるか。

- ① 運営主体や財政責任はどこになり、保険料や医療給付費はどのようになるか。
- ② 町民への説明は、いつごろ予定されているか。

(2) 都道府県化により医療給付費の抑制強化が予測され、県が薦めている未病対策や健康寿命の延伸が重要課題になってく

## A 保険税率の見直しと医療給付費の抑制が予測される 回答 (町長)



(1) 都道府県化により運営主体や財政責任は県になる。県が決めた保険税相当額を納めれば、保険給付費が高額になっても県がその財源を確保する

現在行われている各種健康体操を発展的に拡充し、健康保持増進を図るためにも、旧松田土木事務所跡地の施設を活用できないか。

仕組みだ。一般会計からの赤字補てんがなくなり、事務の効率化やコスト削減も図れるなど、町にとって大きなメリットがある。

ただ、県に納める保険税相当額の増額が予測されるため、保険税率の見直しが必要になる。町民への説明は、平成29年4月以降を予定している。

(2) 県が医療費の抑制強化を求めることは確実だ。定例ウォーキングや火曜体操会・筋トレ教室・生活習慣病予防教室などを開催し、健康維持を図っている。

今後地元既存施設を活用し、参加者を募りたい。旧松田土木事務所の施設については利活用を検討する。



生活習慣病予防教室

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....

## 松田町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方に関する意見書

現在、町では学校のあり方について、検討を進めています。議会としても、議会全員協議会等で検討して議員の意見をまとめ平成28年9月14日に町長に、次のとおり意見書(抜粋)を提出しました。

## まちづくりに関する要望書

本年6月18日及び25日に開催した「議会報告会」の参加者から、まちづくりに関する多くの意見が出されました。この議会報告会でいただいた意見を議会として精査して、平成28年9月28日に町長に、次の項目を要望書として提出しました。

幼稚園・小学校・中学校は、松田地区と寄地区にそれぞれ1校(園)あります。全国的にも少子化が進み、生徒数や学級数等の減少が課題となっており、教育委員会では、平成27年度から松田町立幼稚園、小・中学校の適正規模・配置のあり方について検討を進めてきました。

アンケート結果や地元説明会を実施し教育委員会では、「寄中学校は、松田中学校に統合の方向が望ましい」、「幼稚園、小学校は現状のまま存続するのが望ましい(ただし、3年を経過した時点で改めて検証を行い、必要に応じて対応する)」と判断をされ、9月末には町としての判断を出すことになっています。

しかし、議会としては、町民のコンセンサスが不足していると判断しており、視察を実施した山北町・箱根町においては、学校の統合までに十分な時間をかけていることなどから、方向性の決定及びその時期については再考されたい。

1. 移動販売事業を広く周知し、未永く多くの方に利用されるように実施されたい。
2. 地方創生交付金事業を積極的に活用されたい。
3. 取得した湯の沢及び旧松田土木事務所用地等の町有地については、町活性化のために早期に有効利用されたい。
4. 土佐原林道を県と協議し、早期に町道とするよう進められたい。
5. 空き家を有効活用し、人口増加策及び空家対策として更に進められたい。
6. 松田小学校の建替えは、基金の積立てや補助金を活用し、できるだけ起債を少なくされたい。
7. 酒匂川等の河川敷で子ども達が伸び伸びと遊べる場所を整備されたい。
8. 新東名高速道路建設事業と連動し、寄に通じる県道の整備要望をされたい。
9. 寄の学校の一室を地域活動の場として、利活用できないか研究されたい。



## 住みやすい町を目指して...②7

# 町の観光スポット・寄ロウバイ園

寄ロウバイまつり実行委員会委員長 大舘 達治 (宇津茂在住)

寄ロウバイ園は、松田町寄宇津茂地区に位置し、富士急湘南バス寄バス停より約10分の見晴らしの良い場所にあります。現在、約1,500株、1万本のロウバイが植えてありますが、毎年1月上旬より2月末日まで、甘い香りが漂います。これほど多くのロウバイを鑑賞できる場所は、ここ寄ロウバイ園の他に近隣にはありません。

### 寄ロウバイ園整備事業の経緯

平成17年に荒廃地対策及び寄地域の発展を図ることを目的として、宇津茂地区の有志の方々が荒廃農地を開墾し、最初はナタネを播種しました。そして次の年の平成18年2月に、寄中学校3年生が卒業記念に、ソシンロウバイを植樹したのが、ロウバイ園の始まりです。

このロウバイ園は、多くの地主さんより無償で土地を提供していただき、年3～4回の草刈りを宇津茂生産森林組合のメンバーで実施しています。

まつりやその他の催し物は、宇津茂ロウバイ部会のメンバー16名（男女各8名）で取り組んでいます。毎年1月初旬より開催されるロウバイまつりを初め、5月の若葉まつり、11月の産業まつりと精力的に参加しています。



黄色一色に染まるロウバイ園 (平成28年1月)

### 来春は1月14日から2月12日を予定

6回目の寄ロウバイまつりは、平成29年1月14日から2月12日を予定しておりますので、皆様のご来園をお待ちしております。

今回で6回目を迎えるロウバイまつりですが、最初の1回から2回目までは、ロウバイ部会の主催で簡単なテントで実施していました。

3回目からは松田町主催となり、ロウバイ園に休憩施設を設置していただきましたので、その施設の中で、ロウバイ部会の女性メンバー8名で食堂を開き、地元で採れた野菜を主にして手作り料理の「おもてなし」をしています。売店では、手作り食品として各種佃煮、コンニャク、オレンジピール、ロウバイ染め製品、ロウバイの苗木と切り枝、各種地元野菜を販売し

ています。まつり期間は、1か月以上実施し入園者数も年々増えて、今では1万5千人以上の来園者数となってきました。寄を町の観光地として盛り上げていくためにも、桜やロウバイなど四季折々の花と共に町内外に広く周知し、松田町を訪れて、素晴らしい思い出の地となり再び訪れていただけますよう、おもてなしの心で来園者を迎えたいと思います。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

## 皆さんの傍聴をお待ちしています! 第4回定例会は12月6日(火)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会
石内	中野	南雲	井上	田代	利根川	
浩	博	ま	栄	実	茂	
		子	一			

厳しい残暑も過ぎ去り、いつしか晩秋の気配を色濃くし、松田町の財産でもあります豊かな大自然を改めて感じ取れる季節となりました。9月の議会定例会は、決算議会とも称されます。年度初めに編成された予算に対し、適正・的確に執行され、それがどのように町民サービスにつながったのかを、細部にわたって精査するものです。今後もあり得る財政・皆様方からお預かりしました大切な町税の最大有効活用を目指し、住み良い町づくりの実現に向けて、取り組んでまいります。(中野)

